



公立大学法人京都市立芸術大学
〔担当：附属施設事務室〕
〔電話：075-585-2076〕
京都市文化市民局
〔取次：文化芸術都市推進室文化芸術企画課〕
〔電話：075-222-3128〕

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA 申請展の開催 平野愛 写真展「moving days in KCUA」／むらたちひろ「記憶の巡り」

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA（アクア）では、2024年度申請展として、平野愛 写真展「moving days in KCUA」及び むらたちひろ「記憶の巡り」の2展を開催します。

皆様の御来場をお待ちしています。

- 1 日 時 令和6年6月29日（土）～令和6年8月4日（日）
午前10時～午後6時（月曜休館、7月15日（月・祝）は開館、翌平日の7月16日（火）を休館）
- 2 場 所 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA
（〒600-8601 京都市下京区下之町5-7-1）
（JR・近鉄・京都市営地下鉄烏丸線「京都」駅下車、徒歩6分）
※入場無料

3 開催内容

（1）平野愛 写真展「moving days in KCUA」

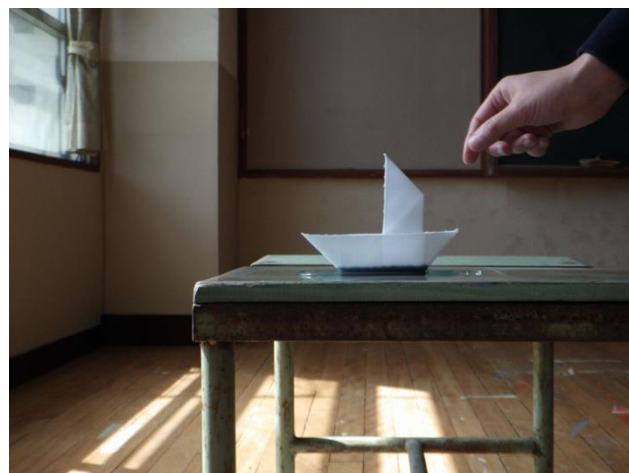
京都生まれの写真家である平野愛は「引っ越し」をテーマにした「moving days」シリーズを展開しています。2023年に誠光社から書籍が刊行されて以降、多くの撮影依頼が寄せられました。本展では、京都市立芸術大学が沓掛から崇仁へと至るキャンパス移転の様子を捉えた多数の写真を展示します。大規模な「引っ越し」に垣間見える芸術大学の真の姿とは？平野の写真が表す、その過去や未来へつながるストーリーをお楽しみください。



平野愛 写真展「moving days in KCUA」イメージ

（２）むらたちひろ「記憶の巡り」

京都市立芸術大学の新キャンパス移転前、校舎の解体を待つ元崇仁小学校では芸大の学生や卒業生が制作・展示を行ってきました。本展では、染織専攻修了生のむらたちひろが記録した元崇仁小学校の写真や映像を用いた作品を展示します。むらたちの作品は、布に染料が滲む様子が時間の経過を想起させ、記憶の曖昧なイメージと重なり合います。鑑賞者は作品を通じて自身の記憶ともリンクする新たな体験を得られるでしょう。



むらたちひろ《planet 04 C 05 '19.3.26 PM 0.20 - '19.3.27 PM 5.59》映像部分 | 撮影地：元崇仁小学校

4 主 催 京都市立芸術大学

5 企 画 平野愛 写真展「moving days in KCUA」：谷本天志（本学美術学部油画専攻特任教授）
むらたちひろ「記憶の巡り」：むらたちひろ

6 問合せ先 ○ 会場等実施方法に関すること
京都市立芸術大学 附属施設事務室
〔電話〕 075-585-2076
※午前8時30分～午後5時15分（平日のみ）
〔FAX〕 075-585-2018

○ 展覧会の出展作家や作品に関すること
京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA
〔電話〕 075-585-2010
※午前10時～午後6時
（月曜休館、祝日の場合は翌平日を休館）
〔FAX〕 075-585-2017

（参考）

出展作家：平野 愛（ひらの・あい）

写真家。1978年京都市中京区出身。御所南で築100年の洋風町家で育つ。自然光とフィルム写真にこだわったフォトカンパニー「写真と色々」共同設立。新作引っ越し写真集『moving days』（2023）を誠光社より刊行。他にUR 都市機構カリグラシウェブマガジン「OURS.」「うちまちだんち」企画・運営・撮影（2015-）。無印良品堺北花田& 京都山科つながる市プロジェクトコンセプトフォト（2018-）、NHK 土曜ドラマ「心の傷を癒すということ」・NHK 連続テレビ小説「おちょやん」「カムカムエヴリバディ」劇中写真担当（2020-2022）、現在は阪神・淡路大震災30年の節目となる2025年に公開を目指した映画『港に灯がともる』制作チームにて活動中。家と暮らしの物語を追いつけている。Instagram: @photo.and.colors

出展作家：むらたちひろ

1986年京都生まれ。2011年京都市立芸術大学大学院美術研究科（染織）修了。
「染まる現象／染める行為」に内包される様々な「揺らぎ」に身近な世界をうつし見る。
おもな展覧会に「染・清流館コレクション展 染色の抽象表現」（2024、染・清流館／京都）、「京都府新鋭選抜展」（2023、京都文化博物館）、「VOCA 展2022」（2022、上野の森美術館／東京）、「TOKAS Emerging 2022」（2022、TOKAS 本郷／東京）、個展「beyond」（2022、Gallery PARC／京都）など。現在、京都・大阪を拠点に活動。

平野愛 写真展「moving days in KCUA」関連イベント

◆関連展示（同時開催展） 「沓掛 1980－2023」プロジェクトアーカイブ展

会場：京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA 2F 共催：京都市立芸術大学「沓掛 1980－2023」プロジェクト+芸術資源研究センター

本学に関わる方々が撮影した沓掛キャンパスの写真を集めて「個々人の記憶の集合体」をつくるデジタルアーカイブのプロジェクト等を紹介します。

◆アーティスト・トーク／平野 愛×ゲスト：堀部篤史（誠光社）

日時：7月12日（金） 18：00－19：30

会場：C棟1階 講義室1（@KCUA横）

◆沓掛キャンパス 思い出写真もちよりワークショップ

日時：7月13日（土） 15：30－17：30（出入り自由）

会場：C棟3階 アーカイブリーディング・ルーム（図書館横）

過去の沓掛キャンパスの写真や「沓掛 1980－2023」のサイトを見ながら、当時を回想していきます。沓掛の写真をぜひ持ち寄ってください（紙でもデータでも可）。

*ご持参の方には特典があります

◆引っ越し写真スライド上映+アーティスト・トーク

日時：7月26日（金） 18：00－19：30

会場：C棟3階 アーカイブリーディング・ルーム（図書館横）

聞き手：石谷治寛（広島市立大学芸術学部准教授、京都市立芸術大学芸術資源研究センター客員研究員）

共催：映像配信のアーカイブ実験室

むらたちひろ「記憶の巡り」関連イベント

●アーティストトーク

日時：7月20日（土） 14：00－15：30

会場：ギャラリー@KCUA 展示室

聞き手：平野春菜（アートコーディネーター）